



ここがすごい！秩父鉱業株式会社 御堂鉱業所のキラリ＊－高品質と強い基盤－

Q．採掘から加工・販売に至るまでの工程の中で、特にこだわっている点や品質管理で重視していることを教えてください（村長）

A．自然由来の原料を扱う特性上、製品中にさまざまな成分が含まれることを踏まえ、厳格な管理体制を構築しています。

求められる品質に応じた製品を安定的に供給するため、採取したサンプルの成分分析を実施しています。これにより、品質のばらつきを抑え、品位の高い製品の提供を可能としています。

（佐々木社長・松岡さん）



Q．御社の技術的な強みは何ですか（村長）

A．秩父鉱業株式会社は、県内に3つの鉱業所を有しており、それぞれの鉱業所において異なる資源の採掘および加工を行っています。各拠点が持つ特性を活かし、建築資材や工業用途など、幅広い分野のニーズに応えられる体制を整えている点が大きな強みとなっています。

また、こうした強みを基盤として、安定した供給体制の確立と品質の向上に努めるとともに、今後はさらなる用途の拡大や新たな需要の開拓にも積極的に取り組み、事業の一層の発展と地域産業への貢献を図っていききたいと考えています。（佐々木社長）



▶ 1951年（昭和26年）に発足し、今年で設立75年を迎えた秩父鉱業株式会社は、1954年（昭和29年）に御堂鉱業所を開設。長年にわたり土石の採掘加工並びに販売に取り組んできました。同社御堂鉱業所では、専門的な鉱山技術を駆使し、けい石の採掘を行っています。採掘されたけい石は、用途に応じてさまざまな形状に加工され、屋根材や壁材などの建築資材、さらにはセメント原料や鉄鋼副原料として利用されるなど、私たちの生活に欠かせない多くの製品に活用されています。

また、同社の強みは専門的な技術力だけではありません。自然を相手にした現場において、安全管理や環境への配慮を徹底しながら、一つひとつの工程に丁寧に向き合い、細部まで妥協しない姿勢を大切にしています。

さらに、現場のチームワークを重視した取組が、高品質な資源供給を支える原動力となっています。

